

農力開発

<http://miyanou.myswan.ne.jp/>

平成26年度スタート

～歴史と伝統にふさわしい新生宮農の再建へ～

春の足音がしっかり聞こえてきた今日、新入生240名を迎え、平成26年度の農業高校は新たな一歩を歩き始めました。震災から3年が経過し、本校は宮城県農業・園芸総合研究所の敷地をお借りし、仮設校舎・農場で授業・実験実習を行っています。本年度は第24回全国産業教育フェア宮城大会が11月に開催予定で、宮城県の農業教育をはじめとする、各専門高校の活躍が期待されます。震災から復興までのあゆみを皆様に知っていただく機会になりますので、ぜひご来場をお待ちしています。

☆詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.sanfair-miyagi.myswan.ne.jp/htdocs/>



第24回全国産業教育フェア 宮城大会

日時：平成26年11月8日(土)、9日(日)

会場：まなウェルみやぎ、名取市文化会館、名取市民体育館、
仙台市立中央公園、仙台港

一粒万倍 農場部長 川口 友和



4月になり暖かい空気が流れてきました。農場も実習の準備で忙しい日が始まりました。

タイトルにある「一粒万倍」は、一粒の種から一万倍のもの収穫があることで、わずかなことから多くの利益を出すこととして使われます。生徒諸君にとっても、新年度の高校生活スタートのこの4月に種をまき、実りある自己目標の達成が出来るように期待します。ただ、実際の農業や実生活では、実りある収穫を迎えるためには日々栽培管理や自己努力をしなければなりません。努力を忘れることなく宮農生として頑張りましょう。

全国大会報告
～食品化学科～

全国高校生そば打ち選手権大会参加



4月2日、東京ビッグサイトで「第4回全国高校生そば打ち選手権大会」が開催され、食品化学科2年生4名が団体戦に出場しました。初出場した先輩を引き継いだ新メンバーは、日々の練習はもちろん、グリーンツーリズムなどの交流活動にも積極的に取り組んできました。今年、そば粉800g、割り粉200g、計1kgの分量に変更され、全国から13チーム

が出場し、「水回し」「練り」「のし」「切り」の4つの工程を40分で行い、技能を競い合いました。結果は残念ながら入賞は逃しましたが、北海道の強豪校と対等に競技をすることができました。選手権出場を出発点として、今後も来年度の入賞と段位取得を目指すとともに、そば打ちを通して地域復興を目指した活動を続けていきたいと思ひます。

農場部より

全国で10校を選抜

SPH指定校に認定されました！

文部科学省では、大学・研究機関・企業等との連携の強化により、社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技術を身につけ、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成することを目的とする「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）」事業を、平成26年度から実施することになりました。

本校は全国から選ばれた10校の1つであり、今後3年間指定校となります。



【研究開発課題】

「日本最古の農業高校 震災・津波から復活の取組！地域で活躍する就農者増加に向けて」
～志・知・技を持った就農者増加へのV字回復～

【研究開発の概要】

- 各学科（農業科、園芸科、生活科、食品化学科、農業機械科）の特徴を生かした、魅力ある農業モデルの学習プログラムを策定し、就農に向けた実践力を育成する。
- 就農者育成に向けて、農業を担当する教員の技術力やその実践力の向上のため、農家・農業法人での研修（一人10か所）を行い、復興を支える志のある生徒を育成する。
- 就農者を育成するため、農業の魅力について生徒、保護者に積極的な情報提供を行うとともに、他教科の教員に対しても農業の魅力を発信する取組を実施する。

